

平成 30 年 8 月 吉日

関係 各位

PVP 研究会 代表世話人
山口秋人

PVP 研究会に対する寄付のお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

最近では、高齢化社会の進行にともない排泄の問題がクローズアップされるようになっていきます。前立腺肥大症は高齢男性において排尿障害をもたらす代表的な疾患であり、高齢化社会の進行にともない患者数の増加が認められています。

前立腺肥大症に対する初期治療には主に薬物が利用されますが、症状が重篤で薬物治療の効果が不十分な場合には外科治療（手術）が適応され、特に最近では、より侵襲と負担が少ないレーザーを用いる治療法が開発され臨床応用されています。我国でも 2011 年に LBO レーザーを用いる光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）の保険診療が可能となり普及が進んでいます。

以上のような背景を鑑み、PVP に関する研究、教育および日本国内での普及と発展に努め、総じて泌尿器科診療の向上に寄与することを主な目的として、2011 年 6 月に本研究会は発足しました。

本研究会の活動として、年一回定期的な学術集会を主催し、各施設の治療成績や問題症例、ならびに手術手技の検討などを行っています。また、日本泌尿器科学会総会を始め、日本泌尿器内視鏡学会や日本排尿機能学会など主要学会において随時、本会が主催する多施設共同研究の成果を報告しています。これらの活動を通して、PVP に関する客観的データを公表することが、本法の発展と普及にあたり最も重要であると考えており、今後とも、既に本会の活動に協力いただいている施設はもとより、前立腺肥大症の治療を手掛けている幅広い医療施設とも更なる連携を目指して活動していく予定です。

本研究会は、これまでも上記趣旨に理解をいただいた会社の寄付金を運営の重要な源資としてまいりましたが、平成 30 年度に予定している一連の活動においても、応分の資金が必要となります。つきましては本会の趣旨に対する益々のご理解ならびにご賛同を賜り、引き続いての協賛をお願いする次第でございます。

なお、当会ではホームページ (<http://www.pvpjapan.net/>) を開設し、情報を提供しておりますので、どうぞご参照ください。ご不明な点がございましたら下記事務局までお問合せいただきますようお願いいたします。末筆となりましたが、貴社の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

<連絡先> PVP 研究会事務局
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8
TEL:092-282-5861 FAX:092-282-5812
メールアドレス: info@pvpjapan.net